

新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日4月1日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、4月8日（火曜日）からです。

『心をつなげる』』

アンドリュー・ニューバーグ ほか／著、東洋出版／刊、請求記号：361.4/N,68

内容：使う言葉を変えれば、脳が変わる。脳が変われば、他者との関わり方にも変化が訪れる。米国の脳神経学者が、最新の科学研究に基づき、「心がつながる仕組み」とその「技法」を丁寧に紐解く。

著者紹介：トーマス・ジェファーソン大学病院Myrna Brind統合医療センター研究部長。

『ちょっと心配な健康診断の数値がすぐにわかる本』

和田 高士／著、学研パブリッシング／刊、請求記号：492.1/C,56

内容：怖い病気も検査値から予防できる！肝臓・膵臓・腎臓の機能低下、肺がん・胃がん・大腸がんの早期発見…。身体計測や血圧検査、血液一般検査、糖代謝検査など、健康診断の検査でわかることを解説する。

『電力情報イノベーション』

池田 元英／著、幻冬舎メディアコンサルティング／刊、請求記号：540.9/I,32

内容：エネルギー新時代を拓くのは、電力の情報インフラだ。電力の情報を提供するとともに、電力に関する情報をユーザーが活用することで何が実現し、その先にはどんな社会が待っているのかを解き明かす。

『食べればわかる交通経済学』

湧口 清隆／著、交通新聞社／刊、請求記号：681/Y,96

内容：ちょっと難しいけれど、美味しい話が満載の交通経済学の入門書。駅弁や機内食といったいわゆる「道中食」をはじめとするさまざまな具体例を示しながら、「人や物を運ぶ」交通ならではの経済理論を解き明かす。著者紹介：1972年東京生まれ。一橋大学大学院商学研究科博士後期課程を経て、博士(商学)取得。相模女子大学人間社会学部教授。専門は交通経済学、公共システム論、経済政策、情報通信の経済学。

『文豪の風景』

高橋 敏夫 ほか／著、エクスナレッジ／刊、請求記号：910.26/ B,89

内容：名作の舞台を知れば、文学が鮮明に見えてくる-。小林多喜二の北海道、藤沢周平の東北、江戸川乱歩や夏目漱石らの東京…。文豪の故郷や作品中でえがかれた場所の写真とともに、「文豪の風景」を丹念に紹介する。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp